

小学校第4学年 社会科学習指導案

日 時 平成29年6月20日(火) 2校時

指導者 教育センター所員 四島 誠

1 単元名 「水はどこから」(東京書籍4年下 pp.56-75)

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領の4年生の内容(3)イの「地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、自分たちの生活や産業との関わりを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする」を受け設定したものである。

わたしたちが生活で使っている水は、様々な人々の工夫や努力のおかげで飲料水として送られてきている。森林を保全したり、ダムを建設したりすることで、水源が確保・維持されている。また、浄水場で働く人々が様々な工夫をしたり、水質試験所で水質検査を行ったりすることで、水源地から各家庭に安全な水が安定供給されている。

本単元では、生活で使っている水が、浄水場などの関係機関と地域の人々が互いに協力し、様々な工夫や努力をしているのおかげで送られていることについて、見学や聞き取りなど、自主的に調べ、理解できるようにすることをねらいとしている。また、児童一人一人も地域社会の一員であるという意識を持ち、健康な生活や良好な生活環境、安全な社会を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識を育てることに適していると考え、本単元を設定した。

- 本学級の児童は、資料を活用して、学習問題について調べたり、考えたりする学習の経験はある。しかし、資料を見て、気付いたことや疑問に思ったことを基に、自分たちで学習問題を設定する経験は少ない。前単元「事故や事件からくらしを守る」において、児童は学習問題を設定し、調べる活動を行った。教師が提示した資料から気付きを出したり、疑問を持ったりすることはできたが、それらに関連付けて学習問題を設定することはまだ難しい様子であった。学習問題について予想し、学習計画を立てることも難しかったようである。また、水についてのアンケートでは、浄水場できれいにされていることを知っている児童が1名、水道水に薬が入っていることを知っている児童は3名いた。山や川から水が来ていることについて曖昧であるが分かっているようである。しかし、どのようにきれいにされているかについて考えたことがある児童は少ないという結果であった。

- 指導に当たっては、「学習問題をつかむ」過程で、水をどのような場面で使っているか思い出させ、たくさんの水がどこから送られてくるのか考えさせることで、学習問題を設定する。そして、学習問題について、一人一人予想を持たせ、交流活動を行わせることを通して、具体的な調べる内容である「どこから」送られ、「どこで」「どのように」きれいにされているかという問いを立てさせる。さらに、それぞれの問いについて、調べる方法まで考えさせ、学習計画を立てさせる。

「調べる」過程では、学習計画を立てるときに出された「水はどこから来ているのか」「どのようにきれいにされているのか」という問いを中心に、浄水場見学やそこで働く人々からの聞き取り調査、教科書、地図などの資料を基に調べ活動を行わせる。また、毎時間、学習問題を振り返らせることで、調べた事実同士を関連付けて考えさせるようにしていきたい。

「考え・まとめる」過程では、これまでのノートやワークシートの記述を振り返らせ、学習問題についての自分の考えを、循環図を中心とした新聞にまとめさせるようにする。また、その際は、節水や飲料水の再利用など、自分でも協力できる取組についても考えさせるようにする。

3 単元の目標

飲料水の確保に関わる対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解して、これらの活動に関心を持ち、見学したり、具体的資料を活用したりして意欲的に調べ、地域社会の一員としてよりよい生活環境について考え、適切に表現することができるようにする。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
<ul style="list-style-type: none"> 市の飲料水の確保に関わる対策や事業について、関心を持って調べようとしている。 地域社会の一員として、川や森林の環境を守る活動に関心を持ち、自分からも節水や飲料水の再利用などの取組に協力しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の飲料水を確保するための対策や事業について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 飲料水に関わる対策や事業が、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的資料を活用し、必要な情報を集めて読み取ったり、まとめたりにしている。 飲料水の確保に関わる対策や事業を的確に見学・聞き取り調査している。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水の確保と自分たちの生活や産業との関わりを理解している。 飲料水の確保に関わる対策や事業は、計画的、協力的に進められていることを理解している。 飲料水の確保に関わる対策や事業が、地域の人々の健康や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。

5 指導計画（全 11 時間 本時 2 / 11）

過程	主な学習活動（○）	教師の働きかけ（○）	評価（・）評価の観点（【】）	時配
学習問題をつかむ	○生活に使っている水がどのように送られているかについて関心を持ち、学習問題を設定する。	○たくさんの水を使っていることに気付かせることを通して、水がどのように送られているのか、疑問を持たせ、学習問題を設定する。	・市の飲料水を確保するための対策や事業について、学習問題を考え表現している。【思】	1
	水は、どのように送られてくるのだろう。（学習問題）			
	○学習問題について、予想し、どのようなことを調べればよいか考え、学習計画を立てる。	○川の水と水道水を比較させたり、水がどのように送られているかを考えさせたりすることを通して、児童の予想や気付きを、グループや全体で交流し、学習計画を立てさせる。	・学習問題について予想を立てたり、調べる内容や方法を明確にしたりして、学習計画を立てている。【思】	1 (本時 2 / 11)
	○水がどこから送られてくるか調べる。	○教科書を基にして、水がどこから送られてくるのか調べさせる。そして、学校にはどこから送られて	・飲料水がどこから学校に送られるか関心を持って、調べようとして	2

		きているのかについて、学校周辺の地図を基に気付かせる。	いる。 【関】 ・飲料水の確保と自分たちの生活との関わりを理解している。 【知】	
調べる	○水はどのようにきれいになっているのか調べる。	○安全な水をつくるために様々な工夫をしていることに気付かせるために、浄水場のイラストを基に、水がきれいにされている仕組みについて調べさせる。	・具体的資料を活用し、必要な情報を集めて読み取ったり、まとめている。 【技】 ・飲料水の確保に関わる対策や事業は計画的、協力的に進められていることについて理解している。 【知】	2
		○浄水場で働く人々の水をきれにする工夫や努力について気付かせるために、浄水場を見学させたり、働く人に質問させたりする。	・飲料水がどのように送られているか、浄水場を的確に見学・聞き取り調査をしている。 【技】	2
	○使われた水は、その後どうなるのか調べる。	○使われた水がどこに行くのかという疑問を解決させるために、下水処理場や水の再利用について調べさせる。	・下水処理場が地域の人人の健康や良好な生活環境維持に役立っていることを理解している。 【知】	1
考え・まとめる	○学習問題について、自分の考えをまとめる。	○これまで学習してきたことを関連付け、今後、自分ができる節水や取組などについてもまとめさせる。 ○学習問題を振り返らせ、安全な水を送るために、浄水場や地域の人々が努力をしていることを視点として、循環図を中心とした新聞にまとめさせる。	・飲料水の確保のために、自分から節水や再利用などの取組に協力しようとしている。 【関】 ・飲料水の確保のために行われている対策や事業を自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。 【思】	2

6 本時の目標

学習問題について予想を立てたり、調べる内容や方法を明確にしたりして、学習計画を立てることができるようにする。 【社会的な思考・判断・表現】

7 指導の視点

「学習問題をつかむ」過程となる本時は、児童に単元を通した問題意識を持たせ、今後の調べる見通しを持たせる上で大変重要である。学習問題について予想を立てさせ、交流させることで、調べる内容を焦点化させる。そうすることで、学習問題解決のために、調べる内容や調べる方法などの学習計画を具体的に立てることができるように考える。

8 展開

学習活動	教師の働き掛け (○) と評価 (【】)
1 前時の学習活動を想起して、学習問題を確認する。	○学習問題を確認した後、本時では、調べ活動を行うために、具体的な内容や方法を考えていくことを伝える。
めあて 学習問題について、何をどんな方法で調べればよいか考えよう。	
2 水はどこから来るのかを予想し、水が通ってくる順序を考え、交流する。 ・森林→ダム→川→浄水場→配水池→学校 ・森林→川→ダム→配水池→浄水場→学校	○予想を立てやすくするために、学校周辺の地図を提示したり、川やダムなどの画像を提示したりする。 ○「どの順序」で通ってくるのかを視覚的に分かりやすくするために、ワークシートに川やダムなどのイラストを順番通りに並べさせる活動をさせる。 ○グループ内で交流しながら、水が通ってくる順序を決めさせることで、多様な考えを共有させ、比較検討させる。
3 川の水と水道水を比較することでどのように水をきれいに行っているか予想し、交流する。 ・砂を取る ・ごみを取る ・薬を入れる	○水が、どのようにきれいにされているか疑問を持たせるために、川の水と水道水の実物を比較させたり、細菌の画像を提示したりする。 ○教師による問い返しなどを通して、「いつ」・「どこで」・「だれ」によってきれいにされているかという具体的な問いを立てさせる。
4 学習問題を解決するために、具体的に調べる計画を立てる。 ・どこから水が送られてくるのか、地図で調べる ・どのようにごみを取っているのか、家で聞いてくる	○主体的に調べ活動ができるように、水がどこから来て、どのようにきれいにされているのかについて、自分の予想を基に、調べる方法を考えさせる。 ○調べる方法が思い付かない児童のために、ペアで相談させたり、早く書けた児童に発表させたりすることで、参考にさせる。 【社会的な思考・判断・表現】
5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しを持つ。	○本時の疑問や予想を整理させるために、振り返りを書かせる。

9 本時の評価

評価規準	学習問題について予想を立てたり、調べる内容や方法を明確にしたりして、学習計画を立てている。 【社会的な思考・判断・表現】		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)
	学習問題について予想し、複数の問いについて、具体的な調べる内容や方法を発言したり、ノートに記述したりすることができている。	学習問題について予想し、1つの問いについて、具体的な調べる内容や方法を発言したり、ノートに記述したりすることができている。	(B)に達していない記述・発言
→(B), (C)と判断した児童への支援	→他の問いでも、調べる内容や方法を明確にし、学習計画を立てさせる。		→板書を基に、問い掛けを行い、調べる内容や方法を考えさせる。
評価方法	ノートの記述，発言の内容		